

# 多くの子育て世帯が購入できず



## 子育て世帯対象にプレミアム商品券を増刷

# 8月22日から、購入できなかった子育て世帯を対象に販売開始

国の緊急経済対策として実施されているプレミアム商品券を発行する事業が多くの市町村で混乱をもたらしています。米原市においても、7月4日から7月6日の3日間、市内7カ所で販売されました。1万円で1万3千円の商品券が購入できるとして、事前の宣伝も多く行われ、3日間多くの人が購入のために列を作りました。混乱を避けるために整理券も発行され、販売開始時には予定数を越え、販売終了となる販売所が続出されました。

### 多くの「子育て応援プレミアム」商品券が引き換えできず

今回のまいばらプレミアム商品券の販売と同時に子育て世帯を支援する目的に「子育て世帯プレミアム券※」が準備されました。

通常のプレミアム商品券を購入された方で子どもを抱える人数におうじて「子育て世帯プレミアム券」を上乗せするというものでした。この商品券を引き換えるには、市が発行する通知書が必要でした。

しかしプレミアム商品券が早期に売り切れたため子育て世帯プレミアム商品券の引き換えをあきらめた世帯。また、子どもをかかえ、いそがしい子育て世帯が販売の行列に並ぶことは出来ないとして、あきらめた世帯が続出し、商工会や市に対して多くの苦情が寄せられました。議員に対しても多くの苦情が寄せられていました。

※子ども1人世帯 2,000円  
子ども2人世帯 4,000円  
子ども3人以上 8,000円

### 1,512世帯(約40%)が対象

今回、これらの世帯を対象に、プレミアム商品券(1万円・1万3千円分)を市独自で増刷し、1世帯1冊限り購入された場合「子育て応援プレミアム券」を引き換えるとしていきます。お盆までに対象者に通知し、8月22日から各庁舎で現金と引き換えで交付するとしています。詳しくは、通知書を確認くださいとのことです。

### 効果や問題点を明らかに

日本共産党議員団としては、今回のプレミアム商品券事業が消費喚起や市内業者の活性化にどのような効果をもたらしたのか今後はしっかりと検証し、問題点を明らかにする必要がありますと考えています。

### 雑感

7月24・25日に市の庁舎等整備基本構想の説明会が行われました。4カ所全体で115人が参加となっています。しかし、多くの参加者が市職員や議員だつたり。その少ない市民の中で、市の構想に賛成は2/3割で反対が7/8割が反対だと執行部が認めています。このような中で、9月議会に市庁舎の位置条例を提出すると説明されています。議会が行ったアンケートでは6割(1,224人)が回答しています。関心が無いわけではない。何を根拠に市民の意思とするのか

### 滋賀の自民党武藤ツイートに批判広がる

滋賀4区選出の武藤貴也衆院議員のツイッターで「戦争に行きたくない」という極端な利己的考え方」とつぶやき、批判が広まっています。

日本国憲法は多くの国民の「戦争はしない」との決意のもとで作られ、70年間戦争によって誰もが傷つけられず、誰も戦争によって傷つけずに来ました。これらを極端な「利己的考え方」といえば、憲法を否定し、戦前の戦争に批判的な思想を「非国民」とする思想に通じるものと言わなければなりません。

武藤氏は、今回の安保法案を審議した衆院平和安全法制特別委員会の委員であり、報道圧力発言が出て批判された自民党若手勉強会にも参加しています。

このような若手議員(36歳)が滋賀県から出ていることに強い怒りを覚えます。参議院での「戦争法案」の徹底審議を行い、また国民的運動を広げ、「安倍内閣」が立ち行かなくなる状況を作り、なんとしても廃案に追い込むことが必要と考えます。

